



今まで当たり前のように考えていた学校での行事や生活が大きく変わり、これから先どのようなようになるのか、はっきりしないことへの不安感もありながら、月日だけは過ぎていくように感じています。しかし、先日行われた1, 2年生の球技大会では、晴れ渡った空のもと、生き生きとした表情とたくさんの笑顔を見ることができ、「今、ここで」の時間を前向きに、大事に過ごすことの大切さを感じました。「先生、毎日球技大会でよくねえ？」との発言に、思わず「そうね」と言いそうになりましたが、現実の学校生活から目をそらすこともできません。ストレスや不安感を一人で抱えてしまわないように、アンテナを高く、様子を見守りたいと思います。冬休み明けは、特に登校へのプレッシャーが大きくなり、不安感が高まることもあります。ご家庭でも見守りをよろしくお願ひします。

3学期 スクールカウンセラー来校日	1/13 (水)	1/25 (月)	2/15 (月)	3/18 (木)
--------------------------	----------	----------	----------	----------

わたしの友達

木科 優子

中高生の頃、自分は社会的で友人も多い方だと思っていた。しかし、大人になるにつれ、「私って友達少ないのかも……」と思うようになった。親友と呼べる人は2人ほど。頻りに連絡を取り合っているわけでもなく、よく考えると、今年一度も顔を見て話をしていない。「コロナ禍で」ということでもなく、思えば普段からこんな感じだ。たまに連絡を取っても、基本的には他愛もないやり取りをして終わり。でもこれで十分。彼女たちとのやりとりの後には、なんだか心が落ち着いて、穏やかに日々の生活に戻ってゆける気がする。

現在、関東で小学校の教師をしているAさん。中学1年で出会い、同じ部活動に入部したこともあり親しくなった。彼女とは中高と同じ学校だったが、同じクラスになったのは中学1年の1回だけ。その後、それぞれに新しい友人ができ、ともに過ごす時間が少なくなっても、何かあると、私は彼女と話したくなった。うれしいときはもちろんだが、疲れたときや迷ったとき、自分が嫌になったときなどの方が彼女と話したくなった。別に、彼女に何か答えを求めるわけではない。彼女の方も、積極的に人に意見を述べるようなタイプの人でもない。なんと言うのか、彼女との時間を通して、自分が浄化されるような感覚になるのだ。浮ついた自分を落ち着かせてくれる感じとでも言おうか……。そして、この感覚は、大人になった今も変わらない。

私と彼女とは、性格も考え方も全然違う。彼女は穏やかで、どちらかといえばおっとりした人だが、芯は強く決してぶれない。大学卒業時に就いた安定した仕事から教職に転ずる時にも、こうと決めたら彼女はぶれなかった。通信教育で教員免許を取得し、採用試験にも二度目のチャレンジで合格した。彼女のように、一度手にした安定を手放し、新たなものに挑戦する強さは私にはない。私は決して彼女のようにはなれないけれど、彼女が自分の友達としていてくれることが、私を安心させる。

これを書いている今日は奇しくも私の誕生日。久々に彼女から連絡が来た。いつものように他愛もないやり取りを楽しんで、また明日から頑張ろう。



節義の嗜み

原田 健司

私が朝日高校に転勤して9ヶ月が過ぎました。朝日に来てよく高校時代のことを思い出します。OBではありませんが30年前の私の母校に似ています。その頃、何をしていたか、何を思っていたかと考えると部活動のことしか考えてなかったように思います。弓道と出会い、夢を持ち、全力で頑張ったこと、実現できなかったこと。しかし、諦めきれず夢の実現のために進路が決まったこと。その頃に出会ったものがあります。『出水兵児修養掟』（いずみへこしゅうようおきて）というものです。紹介します。「士ハ節義を嗜み申すべく候。節義の嗜みと申すものは口に偽りを言はず身に私を構へず、心直にして作法乱れず、礼儀正しくして上に諂らはず下を侮どらず人の患難を見捨てず、己が約諾を違へず、甲斐かいしく頼母しく、苟且にも下様の賤しき物語り悪口など話の端にも出さず、譬恥を知りて首刎ねらるゝとも、己が為すまじき事をせず、死すべき場を一足も引かず、其心鐵石の如く、又温和慈愛にして、物の哀れを知り人に情あるを以て節義の嗜みと申すもの也。」これは昔、子供達に人はこうあるべきだと教えた内容だそうです。なかなか難しいですが、苦しいときこそ思い出します。そして諦めなければ終わりではないことを私に教えてくれました。みなさんも今、色々あると思いますが、苦しいときこそチャンス！です。頑張り続けましょう。でも、どーしても困ったら相談してくれるとうれしいです。ちなみに、先生の夢は今も変わっていません。

家

信宮 優子

NHK のドラマ「ノースライト」を観た。幼い頃、ダム工事に携わる父について「渡り鳥のように」町を移動していた建築家の「今」を主軸に、ミステリータッチの話が展開した。その中で「魂の帰っていく家」という台詞が心に落ちた。

私自身、転勤族の父について転々と町を移り住んだため、人よりは多くの家に住んできたと思う。故郷は、と尋ねられれば、父の急逝後住んできた、母の故郷ここ岡山だ。ただ私の心を今でもつかんで離さないのは、小2から中2までを過ごした四万十川の自然であり、その川べりにあった、三戸一（さんこいち）と呼ばれる3軒つながりの小さなアパートであるかと思う。日曜の午後、足踏みミシンが一つ置かれた四畳半の部屋に寝転んで一人図書館の本をぼんやり読んでいた小学生の自分が見えてくる。無邪気で無防備だったあの家が、自分が、懐かしくて仕方なくなることがある。それは幼少期を過ごしたからなのか、父を亡くした所だからなのか、もしくはもうその家には二度と戻れないからなのかは分からないが、私が帰りたい家はそこかもしれないと思った。玄関の外に置かれた二層式洗濯機、トイレの床の丸いタイル、押し入れのベンジン…。全てが懐かしく、私の体の幾ばくかはその家から出来ているような気さえする。

今年ほど「家」が話題性を帯びた年は記憶にない。Stay home に Go To ～。家にいなさい、家から出なさいと、翻弄された一年だった。この間、「家」で自分は何をしているのか、誰がどのように過ごしているのか、「家」とはどうあるべきか、そもそも「家」とは何か、考えたことのないことを楽しくも真面目に考えた。

「家」は人の歴史を形作っている。物理的な住処に対する思いは、「家」という名の「家族」に対する思いでもあり、自分の気持ちを代弁するものでもある。良くも悪くも、住んだその家が、共に暮らした人々が、自分という人間の生き方の一部であるのは間違いないと思う。

3月に家を出る人、1年後2年後の人、出るつもりのない人ですら、いつかは今のその家を出る日が来る。家を出ることができるのは、家があるからだ。家は出発点、通過点、そして遠い将来の一つのゴールかもしれない。出発点を振り返り、新しい生活を。そしてあなた達の次なる「新しい家」に祝福を。



「いじめ問題・悩みに関する調査」結果の概要

山下 知子

教育相談課では、今年も全学年を対象に「いじめ問題・悩みに関する調査」を行いました。長年、継続的に実施しているもので、毎年この冬の号で結果報告をしています。学校の中で「いじめ問題」が起こっていないか、また日頃生徒がどのような思いや悩みを抱えているのか等を調査しています。その結果を経年比較することや共に考えることで、新たな気づきや行動変容も生まれてきます。調査結果は、落ち着いた高校生活が送れるように全ての教員で共通理解を図り、様々な問題に迅速に対応できるよう協議しています。

令和2年度調査日 3年生 : 6/26 (金) 中間考査最終日 LHR
1. 2年生 : 9/17 (木) LHR

☆全体的な傾向・各学年の特徴

例年と同じく、各学年ともポイントが高くなっているのは、「勉強の仕方」「将来の見通し」「他人からの評価」です。学年に関係なく、多くの生徒が勉強面や将来についての悩み、不安や焦りなどの気持ちを抱えています。また、本校ではやらなければいけないことが多く、夜更かしをしたり、ストレスを感じる生徒も多くなりますが、「体調をよく崩す」「学校に行きたくないと思う」といった項目もやや高めとなっていることがわかります。

1年生では、例年より「友人関係の悩み」が少なく、「学校内に信頼して相談できる人がいない」が多くなっています。一因として、新型コロナウイルス感染症の影響で学校行事が減ったことで友人関係が希薄になっていることも考えられます。

2年生は、「友人関係の悩み」が1年時より若干増加しているものの、全体的には改善している項目が多く、落ち着いた学校生活が送れるようになった生徒が増えて、集団としてのまとまりが出てきました。

3年生は、1・2年調査時と比べるとほとんどの項目で数値の改善がみられます。「人が私をどう思っているのかとても気になる」の項目は、年々低下し、

高校生活の中で自分自身と向き合いながら自己実現を目指している姿が感じられます。また、「友人関係の悩み」や「家族には悩みがあっても相談できない」の項目も改善しています。家族や友人とも良い関係を築きながら、様々な問題を乗り越えようとしている姿が感じられます。

問A いじめ・悩みについての質問の結果 (抜粋)

「問A」質問事項	3年	2年	1年
a 生活のリズムが整わず、体調をよく崩す。	1.9	1.8	1.8
b 友人関係で悩むことがよくある。	1.5	1.7	1.5
c 学校内に信頼して相談できる人がいない。	1.4	1.5	1.6
d 勉強の仕方がわからず、集中できない。	2.1	2.0	2.0
e 将来への見通しが立たず、気力が満ちない。	2.0	2.0	2.0
f 学校に行きたくないと思う。	1.8	1.8	1.8
g 私には友人がいない。付き合いがうまくいかない。	1.2	1.3	1.3
h 私はいじめられている。	1.0	1.1	1.0
i からかわれたり手を出されることがあり、いやだ。	1.1	1.2	1.1
j 言葉や態度で傷つけられることがある。	1.2	1.3	1.2
k クラスの中に改めるべき問題がある。	1.2	1.4	1.4
l いじめたりいじめられたりしている人がいる。	1.1	1.2	1.1
m 人が私をどう思っているのかとても気になる。	2.0	2.1	2.0
n 私のことをわかってくれる人は一人もいない。	1.2	1.3	1.3
o 家族は私に過剰に期待をかける。	1.4	1.5	1.5
p 家族には、悩みがあっても相談できない。	1.5	1.5	1.5
q 私の落ち着ける場所はない。	1.2	1.3	1.3

*回答は、最高値4 最低値1・・・数値が小さい方が良い状態となります。

1=あてはまらない 2=あまりあてはまらない 3=ややあてはまる 4=あてはまる の4件法で回答し、平均値を表す

☆今こそ ピアサポート！！

世界中に新型コロナウイルス感染症が蔓延して2020年がこんな一年になるなんて、1年前の12月には全く想像できませんでした。3月の全国一斉の休校措置に始まり、分散登校、部活動の制限、各種大会・全国レベルでの行事の中止。本校においても、年度当初に1・2年生の各クラス毎で生徒が企画する一日 HR や富士登山・修学旅行・スキー教室、ピアサポートをはじめ各種研修会や各種行事の簡素化・中止など。感染防止のためとはいえ、かけがえのない体験を失ったことは残念でなりません。

世界中の人々が、このコロナ禍を乗り切るために知恵を絞り、最善の策を模索しています。今年、大学に入った一人暮らしの先輩達は、リモート授業が続く中、多くの不安や悩み、時には孤独とも戦いながら頑張っていることと思います。「遠くの親戚よりも近くの他人」という言葉がありますが、こうした時代だからこそピアサポート（仲間同士の支援）の輪が広がれば素晴らしいのになあ・・・と感じています。最近の Hyper-QU の調査では、ソーシャルスキルが低く、他人と積極的に関わりづらい（待ちの姿勢が多く、周りも関わりづらくなる）、人間関係が作りづらい傾向がみられました。しかし、ちょっと意識の持ち方を変えるだけでも自分の行動は変えることができます。優しい声かけや助け合い。あなたも出来ることから何か始めてみませんか？

問B 【朝日高校に「いじめ」はありますか。あるとすればどのようなことですか】(自由記述)について

「知っている限りではない」「おそろくない」「見たことない」「知らない」が多数の意見でしたが、少数ながら「陰でコソコソ悪口、嫌がらせ、いじり・からかい、遠回しに傷つける」「学力カースト、成績で人を差別する」「ネットやSNS上でのトラブル」などの記述もみられました。また、「悪口を言って、その人を避ける」「いじるつもりでやっていることが相手を傷つけている場合もあるかもしれない」など、友達同士の関わり合いの延長でも受け取る側にとってはいじめとなり得るようなものの記述もありました。この調査では記名がある場合とない場合がありますが、調査回収後、気になる事例については、まずは担任・学年団、そして教育相談課が必ずフォローしています。

☆いじめの実態について

いじめに関連した項目は、質問h～lまでになります。その数値は高くはないものの、毎年皆無ではありません。今年の調査では、いじめと断定できるようなものはなかったものの、気になる記載があったケースでは、担任や各関係者等により早急に対応をしています。また、表面的には見えづらいネットや SNS 上など、教員の目の届きづらいところで傷つき体験をしている生徒はやはりいくらかいるようです。

☆知って欲しいこと・訴えたいこと(自由記述)では、こんな声もありました！

- ・勉強は嫌ではないけど、ハードスケジュール過ぎて、たまに急にやる気がなくなるので、適度に気分転換もしながら頑張っていきたいです。
- ・少数派で差別をうけやすいこと（LGBT等）の教育をもう少しやった方が良いと思う。
- ・いじめではないが、人付き合いで困っている人はわりと見かけるので相談にのってあげて欲しい。
- ・欠席が多い生徒の様子が気になる。
- ・(1年生)岡大附属中・京山中など多人数で本校へ入学してくる生徒と同中学から少人数で入学する生徒との間では、ちょっとしたカルチャーショックがあり、毎年、少人数側の生徒は慣れるまで苦労することが多いようです。

本校では「いじめ問題」等の実態を把握した際には、学年団をはじめ教育相談課・各関係者等で対策を協議し、毅然とした態度でその解決に努めています。何か気になることや心配事等がある時には、話しやすい誰かに相談を！あなたに合ったサポーターがきっと見つかります。遠慮なく教育相談課や保健室に相談に来てください。また、昨年度より、生徒が匿名でいじめ・差別・暴行・性的嫌がらせ等の相談・報告を行うことができるアプリ「STOPIt」も導入しています。これらの問題で直接相談に行きづらい時は、アプリの活用も検討してみてください。(＊^_^＊)